

禍を転じて福と為す！

「コロナ禍だからこそ、地域連携でピンチをチャンスに！！」

・作品の要旨

コロナ禍において注目したのが「マイクロツーリズム」でした。私たちが暮らす児島地域にある素材と素材をマッチングさせ、新たな価値を生み出すのが「こじまっちゃんぐ」です。実際に複数の新商品が開発され、すでに販売され、各種メディアでも取り上げられています。事業継承やフードロスなどの問題にも対応し、児島地域での取り組みが、全国または世界の様々な問題に対応できます。

・苦労した点など感想

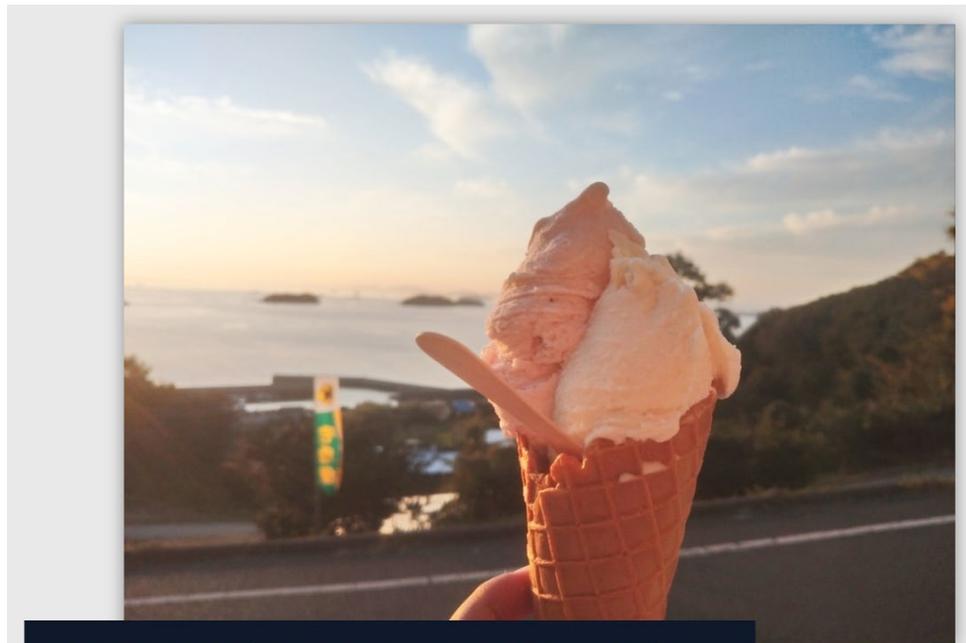
提供していただいた素材をいかに私たちがうまく活かせるか、試行錯誤を重ねたうえで新しい商品を誕生させました。一つ一つの作業を大切にし、お客様に喜んでもらえるかどうかを考えながら商品開発をしたこと、また、2つの店の双方の意見のすり合わせに苦労しました。

・受賞の喜びコメント

私たちの活動が特別賞のクリエイター賞を頂くことができ、とてもうれしく思っています。今後は児島地域のみならず、全国各地の産品とマッチングし、地方を元気にできるような取り組みに発展させたいと思います。本当にありがとうございました。

岡山県倉敷鷺羽高等学校

時山 晏佳
綱井 音羽
藤井 乃愛
安藤 庵
丸谷 日菜々



なんちゃって？いちご大福ジェラート～鷺羽高校の生徒が「風美堂」と「シーサイドファームなんば牧場」のコラボ商品を開発

📅 グルメ / 2020.11.21



児島×児島
こじまっちゃんぐ



岡山県立倉敷鷺羽高等学校
ビジネス科 ビジネス研究部(BKB)

審査員からのコメント

「こじまっちんぐ」プロジェクトで、地域の農産物の加工の新しいアイデアが生まれていて高校生らしい取り組みであった。しかし、だからこそ、地元の魅力的な農産物や経営者がこれだけ存在しているにも関わらず、自発的なコラボレーションが生まれていなかったことが不思議に感じた。恐らく地元の方からのアイデアが出にくい環境だったところに突破口を開いたのだと思われるが、「なぜこれまでできなかったのか」にも注目することでより深みのある研究になるように思う。

